

# 2025年3月27日 NO.142号 障害児・者サークル通信



発行：性教協★障害児・者サークル事務局  
一般社団法人“人間と性”教育研究協議会（性教協）本部・事務局  
〒151-0071 東京都渋谷区本町1丁目7番16号 初台ハイツ1006号  
HP <https://shogaiji-sha.seikyokyo.org>

●特集 第30回障害児・者サークル全国セミナー IN 東京報告	
全体会 講演会	1
第1分科会 性教育実践から学び合おう	3
第2分科会 生活の中での「性の学び」を考えあおう	4
第3分科会 障がいのある青年たちと語り合い交流し合おう	5
●第10回 せいかつをゆたかに 障害児・者性教育セミナー	6
●連載（第9回）「軽度知的しょうがいの青年たちの恋愛、性交、出産、子育て」	7
●「きいて、きいて！」	9
●お知らせ	10

## 特集：第30回障害児・者サークル全国セミナー IN 東京 報告

2025年2月16日（日）

主催：“人間と性”教育研究協議会障害児・者サークル / 障害児・者性教育セミナー 東京実行委員会

### 全体会に参加して

サークル結成30年。おめでとうございます。1996年3月末の土日、わたしの職場（全障研）に近い戸山サンライズという会場で「性教協障害児部門発足記念」としてセミナーが開かれるということを知り、（いきなり2日間？）と思いながらもふらっと参加したところ、急きょ来賓挨拶（？）をすることになりました。障害のある方の参加を受け、「おとなの性も視野に入れ、いずれ名称の変更（当時は障害児サークル）も検討しよう」という話その場で提案されたり、参加者の「もっと学びたいなあ」のつぶやきを聞きもらさず、「それ、やろう！」「いつやる？」と詰めるなど、勢いのある結成でした。わたしもその勢いの渦の中にはまり、長い間かかわらせていただくことになりました。



●全体会開始前 そんな30年前を思い出しながら、本セミナーの会場となった立正大学へ。だいぶ早めに到着しましたが、その熱気に圧倒されました。世話人や

実行委員、障害のある青年たちもスタッフとして、会場設営におおわらわ。そこには、なつかしい顔、数々の貴重な教材、サークルの30年の成果物（本や雑誌や通信）の展示、そして、学びを深める書籍販売も。対面集会のよさを初っぱなから実感することになりました。

●主催者挨拶 基調報告に相当する「挨拶」は児嶋芳郎さんがつとめ、「サークルの歩みと現状・課題」が提起されました。

シンポジウムのテーマは「人間発達の権利として『包括的性教育』とは～豊かな人間関係って？ 包括的性教育の意味・理解を深めよう」。シンポジストは山中冴子さんと堀川修平さん。お二人は、専門は違えど埼玉大学で働く同僚。コーディネーターには日暮かをるさん。事前の入念な打ち合わせのもと、息の合ったなごやかな時間となりました。

●山中さんの講演 テーマは「障害のある子どもの発達と性教育～全障研の取り組みから」。1967年に結成した全障研の理念（障害者の権利を守り、発達を保障する）を押さえながら、「発達の考え方」「発達と教育」「青年期教育」について事例をあげなが